

いっぴい 飯南



いいなんちょう

飯南町広報

平成19年9月20日 No.33



9月号

生命地域の中で 組み立てる生命産業

まちの話題・私たちの地域を紹介します・お知らせなど

年を取っても元気に「家庭菜園」
(頓原:町区)

皆さんはこのマーク、もうご存知でしょうか。これは、町が募集した「生命地域シンボルマーク」の最優秀賞に選ばれた佐藤春平さん（東京都）の作品です。

町は、豊かな自然を生かしたまちづくりとして「生命産業創造プロジェクト」に取り組んでいます。このマークは、「生命地域」としての飯南町を普及・啓発していくために活用していくものです。

今月号では、プロジェクトでの取り組みと、特色のある「生命産業」の可能性を紹介します。



生命地域 飯南町

【シンボルマークの製作意図】
大万木山や女亀山など、飯南町の山々が蓄えた豊かな水が注ぎ込む神戸川・斐伊川の川と、その清流に育まれて成長する若葉を、「I・N・A・N」の文字とともにデザインし「飯南町の生命地域」を象徴しています。

生命地域の中で 組み立てる生命産業

「生命産業」って何？



里山で作られる 水と食物

飯南町は、面積の約90%が森林です。ブナ林をはじめとする広葉樹林を残すことにより、きれいな水が豊富に作られます。また、環境に配慮した農業を営むことで、安全でおいしい食物が作られます。

里山を守る 地域社会の維持

「生命地域」に暮らす私たちには、里山を守り育て、後世に伝えていく使命があります。それは、地域の人々のため、ない活動に支えられています。一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、地域全体の「うねり」を発揮していくことが求められます。

生命地域から 「生命産業」が 生まれる

「生命地域」の原則は、自然の循環です。自然の恵みによる水や光を取り入れ、食物が育ちます。植物から、きれいな水や空気が生まれ、安全・安心でおいしい食べ物が収穫できます。人々の営みの後に出る廃棄物は、環境負荷を低減して、自然に還元します。

「生命産業」とは、そんな自然の循環から生まれる産業を表しています。町は、地域の資源を生かした「生命産業」を創出することで、雇用の場の確保や交流人口の増加など、様々な相乗効果が期待できると考えています。

「生命産業」

私はこう思う

「生命産業」は 10年前から 取り組んでいます

夢来咲工房（小田）
代表 山崎昭三さん



私たちのグループは、和田という組の男女15人が集まり、加工食品の製造・販売を行っています。

山菜やもち米、小豆をはじめ、料理に使うほとんどの食材は、地域で採れたものばかりです。市販の加工食品は使わないようにしているため、手作りの味が皆さんに喜ばれています。私たちの活動は、始めてから10年くらいになりますが、町が目指す「生命産業」と同じだと感じています。薬草木にも関心がありますので、今後は更に活動を広げていきたいと考えています。

特色があれば町外の方にも 喜ばれると思います

パン工房
もりどおる（頼原）
スタッフ
小村千鶴さん（写真左）
三原かおりさん（写真右）



私たちの店では、地元の新鮮な食材を利用して、毎月様々なパンを作っています。

例えば、今月は近所のおじいちゃんからイチジクをいただいて、イチジクあんぱんを販売しています。以前作った笹塩あんぱんは、地元企業の笹塩を使い、町外の方にも、珍しいと評判でした。

「生命産業」は、まだ聞きなれない言葉で難しく感じますが、地域にあるもので産業をおこし、町が元気になるのは良いことだと思います。特色のあるものだと、町外の方も喜ばれますし、何より私たちも誇りに感じます。

地道な啓発活動が 大切です

森林セラピー
推進協議会会員
足もみプラザ
足心漢（野萱）
塚本 要さん



私は職業上、住民の健康について考えることがあります。が、町の課題の一つに、医療費の増大があると思います。

解決策として、私は、健康スポーツクラブのような組織の設立を提案します。運動器具代と、インストラクターの人件費があれば、可能だと思います。日々の健康づくりが産業として成り立ち、莫大な医療費を負担するより、健康づくりにお金を使った方が経済的ではないでしょうか。

町には、健康づくりのPRを積極的に行いたいと思います。何事も、地道にPRしていかないと実りません。「生命産業」も同じです。地道な啓発活動が続けることが、成功の秘訣だと思います。

町内には、「生命産業」として生み出すことができる様々な「可能性」がありそうです。次ページでは、実際に調査・研究を始めている事例を紹介します。

どのような「生命産業」が生まれるの？

ここでは、「生命産業」として町が進めている主な事業を紹介します。

森
林
セ
ラ
ピ
ー

今年3月に「森林セラピー基地」に認定された「県民の森」を活用した事業として、8月から「森林セラピー」の受け入れを開始しました。

この事業は、町外からツアー客を募集し、森林セラピーによる癒し効果の体験を中心、に、町内にある様々な観光・宿泊施設と連携した交流事業として取り組んでいます。

今後は、森林セラピーガイドの育成や、セラピー料理（健康料理）の開発を行い、癒し効果の高いプログラムを提供できるように準備を進めます。

ベビーリーフ・ス
プラウトの栽培

ベビーリーフは、発芽後10〜30日程度の若い葉菜のことで、スプラウトは、新芽野菜の総称として使われています。



スプラウトとして代表的な「かいわれ大根」

町は、サラダ用のベビリーフやソバスプラウトの栽培を推進しており、町内の意欲的な企業と、産業化へ向けて検討を進めています。今年度は、試験栽培の実施等を計画しています。

イノシシ肉の消費拡大

農林業へ多大な被害を与えるイノシシを、地域の活性化に生かそうと、住民グループのグランディア赤名峠は



イノシシ肉を利用したカレー

イノシシ加工食品の開発に取り組んでいます。

イノシシの捕獲は、有害駆除を含めると、350頭くらいあり、捕獲から加工・販売への流れが確立されています。

イノシシ肉を使ったカレーやコロッケは、消費者の評判も上々です。町は、販路の開拓や特産品としてのPR等を行うなど、支援をしています。

クマザサ採取

株式会社サプロ島根で作られる「クマザサエキス」は、主に町内で採取されたクマザサが原料です。現在は、町

薬草木の栽培

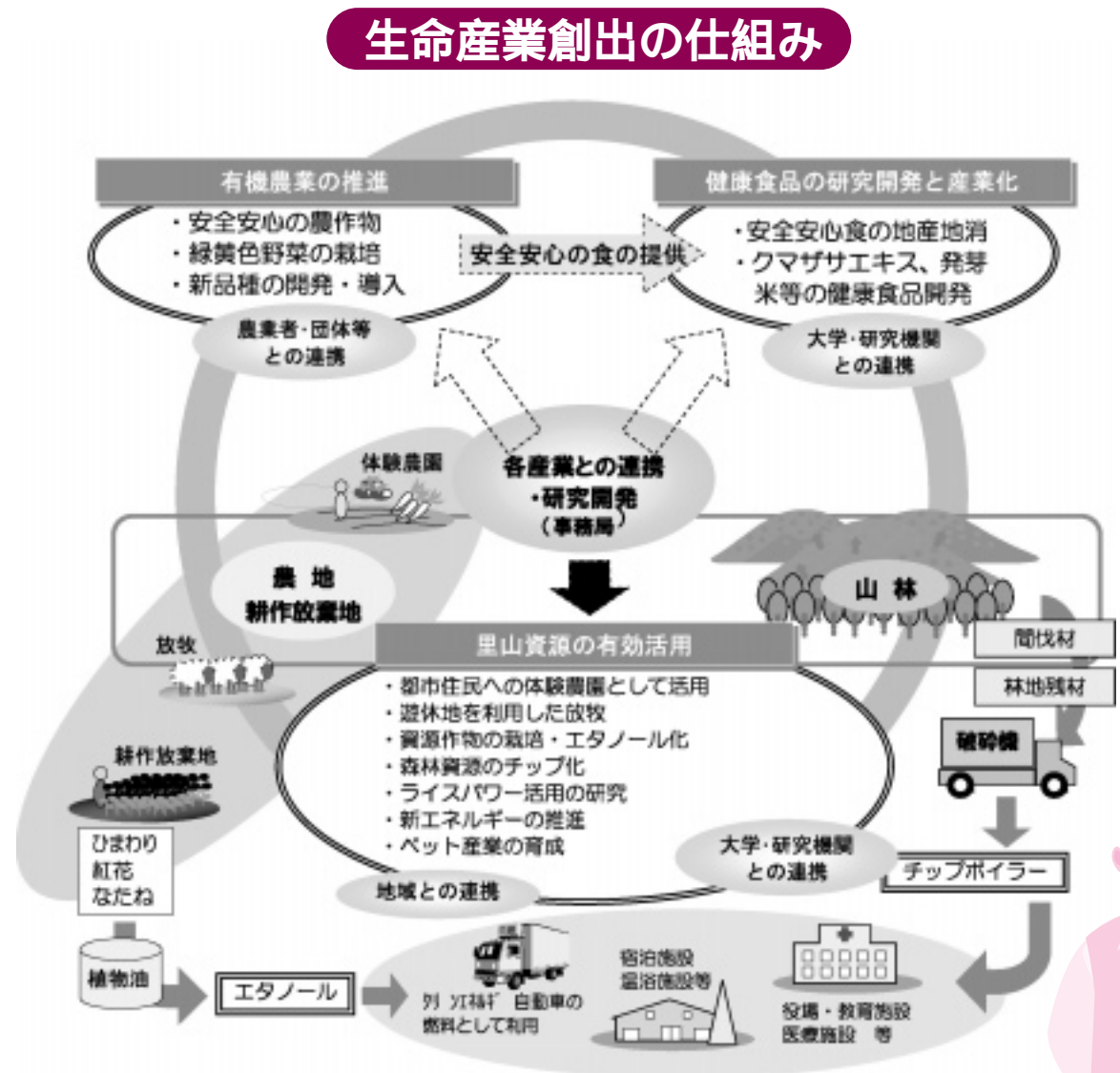
民の皆さんから十分な量のクマザサが集まっており、安定したエキスの抽出が可能になっていきます。

クマザサの採取は、エキスの原料となるだけでなく、里山の景観・環境整備にも一役買っており、一石二鳥の事業として取り組んでいます。

同社は成分調査を実施し、効率的で品質の高い商品の開発を進めています。今後は、新商品の開発や安定的な笹の採取を行い、販路や雇用の場の拡大を目指します。

薬や染料、料理の食材として薬草を栽培し、飯南町ならではの健康食品を開発していきます。

薬草木に関する知識を深めてもらうために、広島大学の神田博史助教授による「生命産業創造塾」を開催しています。受講者の中から、町内の住民グループが産業化へ



その他

意欲を示されています。

住民グループと協力して、
自生している薬草の調査も
行っており、現在は薬草山野
草園の取り組みや、栽培地の
確保を検討しています。

生命地域として町内の資源を活用していくために、次のような事業も検討していきます。

- ・町内産の山菜や薬草を使う健康料理
- ・ゴギなど溪流魚の養殖
- ・木質バイオマスなど新エネルギーの活用
- ・園芸療法の研究



生命産業創造塾

生命産業創出の仕組み

「ご意見・ご提案をお待ちしています」

「生命産業」についてご意見・ご提案がありましたら、政策推進課へお問い合わせください。
政策推進課プロジェクト担当 76.2214

生命産業創造プロジェクトで取り組んでいる事業は、ほとんどがゼロから出発している新たな取り組みですが、町の財政状況を考えると、大きな投資を行う事が難しい状況です。

しかし、プロジェクトを推進し、産業を創出することによって、雇用の場の確保や交流人口の拡大など、様々な相乗効果が期待できます。

このような状況から、町は少ない投資で、まちおこし」企業おこし」につながるような提案を、引き続き皆さんに提案していきたいと思います。

小さな田舎まちからの、生命地域」宣言。町は今後も、豊かな自然を生かしたまち、安心して暮らせるまち、住民の参画によって育てるまちを目指して、まちづくりを進めます。

おわりに

生命産業創造プロジェクトで取り組んでいる事業は、ほとんどがゼロから出発している新たな取り組みですが、町の財政状況を考えると、大きな投資を行う事が難しい状況です。

しかし、プロジェクトを推進し、産業を創出することによって、雇用の場の確保や交流人口の拡大など、様々な相乗効果が期待できます。

このような状況から、町は少ない投資で「まちおこし」企業おこしにつながるような提案を、引き続き皆さんに提案していきます。

小さな田舎からの「生命地域」宣言。町は今後も、豊かな自然を生かしたまち、安心して暮らせるまち、住民の参画によって育てるまちを目指して、まちづくりを進めます。



飯南町成人式

8/15(水)

赤名農村環境改善センターを会場として行われた今年の成人式は、昭和61年4月から62年3月に生まれた町内出身者、在住者83人のうち、60人の出席がありました。

式典では、山崎町長が「人に対する優しさや思いやりを基本に、お互い助け合っていたきたい。何処にいてもふる里を思い出し、町の発展に力を貸してください」と挨拶し、新成人を代表して岩谷晃二さん(下赤名)が「これからは社会人として自覚と責任を持ち、人生を歩んでいかなければなりません。様々な試練が私達を待ち受けているかもしれませんが、乗り越えていきたいと思っています」と誓いの言葉を述べました。

成人を迎えた83人の若人(敬称略)

朝山 真奈美	景山 茜	高橋 美幸	松田 誠
安部 昂史	景山 達矢	瀧口 和也	三上 智子
安部 智津	勝山 宣洋	瀧尻 瑠美	三島 美香
安藤 利栄子	勝部 伸幸	多内 力	三原 あり
石金 美香	加藤 希	竹内 聡	宮迫 一平
石田 悠介	門脇 伸輝	田邊 翔一	森山 美加子
伊藤 陽司	岸野 敬寛	田部 大輔	安田 和博
岩谷 充治	熊谷 尚子	田原 雅士	山岡 加菜
岩谷 晃二	後長 晴香	チン 工	吉岡 諒
上谷 希美	澤田 洋佑	月森 純樹	吉迫 善史
大谷 悠	柴田 瑞紀	戸田 将平	吉田 祐希
奥田 恵	白石 貴也	永田 裕之	和田 愛美
落合 裕司	白石 華織	那須 祐宏	渡邊 めぐみ
小村 一男	高橋 真菜香	那須 美子	渡邊 幸弘
			里香



県民の森フェスタは、森林が持つ豊かな自然を多くの方に体験してもらうことを目的として、毎年開催されています。昨年は豪雨災害の影響で中止となりましたが、今年は天候にも恵まれ、多くの家族連れで賑わいました。

会場には、木材や植物を使う様々な体験コーナーが設けられ、共同作業を楽しむ親子の姿がありました。また、近くを流れる小田川での川遊びや、森林セラピーロードの散策など、訪れた方は様々な体験から森林の自然を感じていました。

県民の森フェスタ 2007

8/11(土)



とんぼ



月末に修復を終え、銀山街道を紹介する施設として生まれ変わります。

銀山街道の歴史を知ってもらうために 古建築解体ワークショップ開催

8/18(土) 8/19(日)

飯南町を通る銀山街道は、石見銀山遺跡の世界遺産登録を受け、注目が高まりつつあります。「銀山街道古建築解体ワークショップ」は、歴史ある街道を多くの方に知ってもらう

ため、2日間にわたって開催したものです。

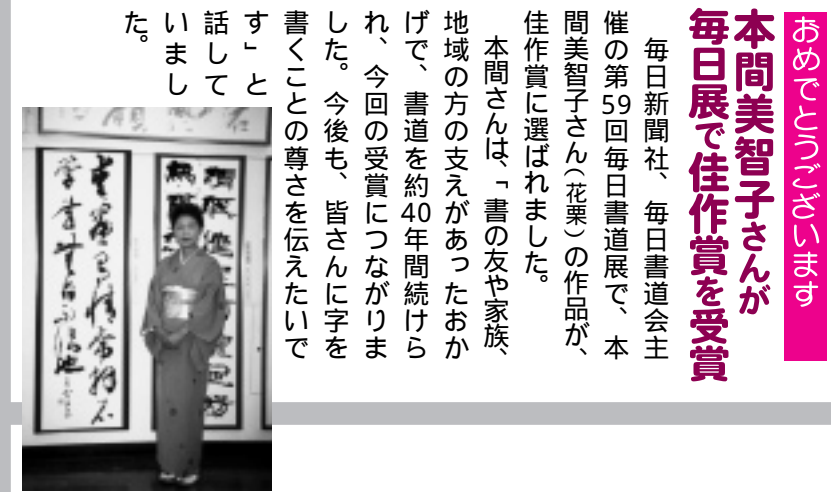
イベントは、1日目に銀山街道や古建築に関する講義を行い、2日目に下赤名の古建築解体作業を行う日程で行いました。会場には町民の皆さんをはじめ、県外の大学生や関係者など約40人が集まり、銀山街道に対する関心の高さが感じられました。



町民体育大会

世代を超えて楽しい運動会

8/26(日)



本間美智子さんが毎日展で佳作賞を受賞

毎日新聞社、毎日書道会主催の第59回毎日書道展で、本間美智子さん(花栗)の作品が、佳作賞に選ばれました。

本間さんは、「書の友や家族、地域の方の支えがあったおかげで、書道を約40年間続けられた。今回の受賞につながりました。今後も、皆さんに字を書くことの尊さを伝えたいです」と話していました。

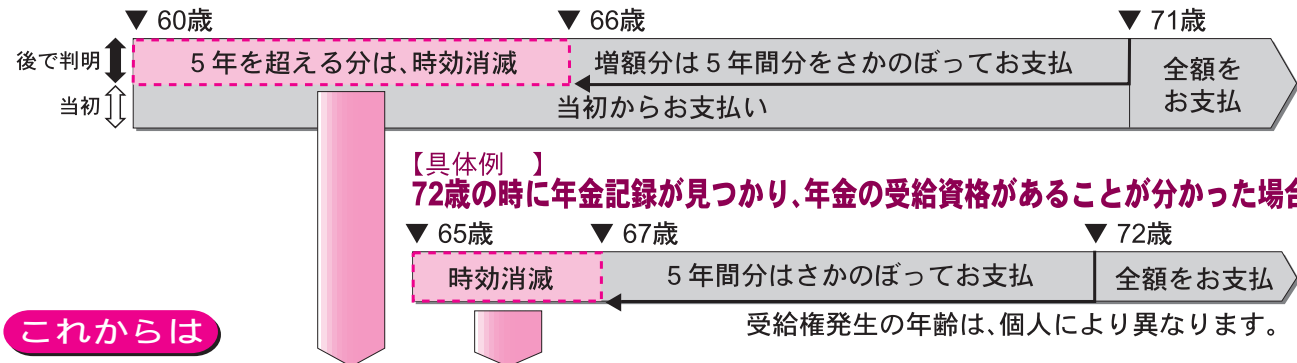


年金時効特例法が施行されました

年金記録の訂正による年金の増額分は、「年金時効特例法」の施行により、時効で消滅した分も、全期間さかのぼってお支払いします。

いままでは 年金記録が訂正された結果、年金が増額した場合でも、時効消滅により直近の5年間分の年金に限ってお支払いしていました。

【具体例】60歳から年金を受給していた方で、71歳で追加すべき年金記録が見つかった場合

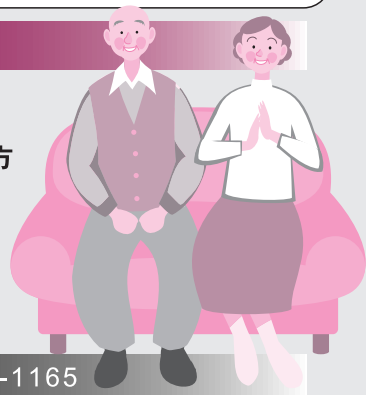


これからは 年金時効特例法の成立により、この部分も全期間さかのぼってお支払いします。

対象となる方

- ① 年金記録の訂正により年金が増えた方
…老齢・障害・遺族年金の時効消滅分が全期間さかのぼって支払われます。
- ② 訂正により年金の受給資格が確認され、新たに年金をお支払することとなった方
…老齢・障害・遺族年金の時効消滅分が全期間さかのぼって支払われます。
- ③ ①や②に該当する方で亡くなっている場合は、そのご遺族
…未支給年金の時効消滅分が支払われます。
- ④ 今後、年金記録が訂正された結果、年金額が増える方
…増額された年金や未支給年金額が、全期間分支払われます。

お問い合わせ ● 出雲社会保険事務所 TEL0853-24-0044 なんきんダイヤル TEL0570-05-1165



道路整備に関する期成同盟会を開催



県民の森へ通じる町道小田線

8月10日、憩いの郷衣掛で瑞穂・高野インターアクセス、新銀山街道整備促進期成同盟会「主要地方道邑南飯南線改良促進期成同盟会」の総会を開催しました。

この期成同盟会は、工事が進む尾道松江線高野インターから、飯南町を経由して石見銀山を結ぶ「新銀山街道」、同じく浜田道瑞穂インターを結ぶ「リフレッシュロード」の整備を、島根・広島両県へ要望するものです。

町が進める、森林セラピー事業、世界遺産登録が実現した石見銀山へのアクセス道として、同会が要望する道路は重要な役割を持ちます。

町は今後、関係市町と連携を取りながら、同会で要望している道路の早期着手・改良整備を目指します。

水稻・施設園芸の研究会を設立



飯南町の基幹産業は、農業です。その中で水稻生産は、農業生産額の大部分を占めて

おり、町は今後も水田農業の振興を図っていく方針です。しかし、米の産地間競争が厳しくなりつつあるため、安全・安心でおいしい米づくりを進める必要があります。

町の方策としては、環境にも配慮した特色ある米として「エコ米」等の取り組みを考えており、8月29日に「米づくり研究会」を立ち上げ、関係者との協議を始めました。同会では、

生産から販売まで、一貫した需要に基づいた米づくりについて、協議・研究を行う予定です。

また、水稻生産にかかるコストの低減と経営の多角化が必要であり、水稻依存型の営農では厳しい状況が予想されます。このことから、同日に「施設園芸研究会」を立ち上げました。

同会では、今年中に飯南町に適した施設園芸を検討し、早急に具体的な方策を導きたいと考えています。

飯南町椎茸生産組合が設立

旧飯原町と旧赤来町にあった椎茸生産組合がそれぞれ解散し、8月24日に「飯南町椎茸生産組合」として新たにスタートしました。

国内産椎茸の出荷は、海外の安い椎茸の輸入により、厳しい状況にあります。飯南町内では、高齢化等による生産者の減少もあり、同組合は事業を見直し、規模の拡大を模索する必要があると考えています。



同組合の設立により、今後は21人の組合員による活発な活動が期待されます。町は、関係機関との協力体制を確立し、同生産組合をサポートしていきます。



食育への本格的な取り組みをスタート

健全な食生活を実践するためには、食に関する知識や食を選択する力だけでなく、食に関する様々な知識や能力を含め、広く食べる知恵を身につける必要があります。

県では、今年3月に「食育推進計画」が策定されました。飯南町でも重要課題として取り組むこととして、食育推進計画策定委員会を立ち上げ、8月22日に初会議を行いました。同委員会は、町内の食に関する団体、住民代表などで組織しています。今後は、アンケート等による情報収集を行いながら、来年2月までに計画を完成させる予定です。

イベント情報

第17回

コスモス祭

今年も楽しいイベントを用意して、コスモス祭を開催します。コスモスの可憐な花に囲まれて、素敵な一日を過ごしませんか

- 開催日 10月14日(日)
- 会場 東三瓶フラワーバレー
- 内容 ステージイベント、食のテント市、ヤマメのつかみ取りなど

■お問い合わせ 自治振興課志々地区担当 73-0001

頓原公民館まつり



文化グループの展示コーナーや体験コーナー、小学校児童によるダンスや楽器演奏など、大人から子どもまでが楽しめるイベントです。

■開催日 10月21日(日)

■会場 保健福祉センター

■お問い合わせ 頓原公民館 72-0980

文化講演会

税を考える週間協賛

- 講師 小山明子さん
- 演題 二人三脚で乗り越えた介護の日々
- 日時 11月10日(土) 13時開場
- 会場 チェリパホール(雲南市次町)
- 入場料 無料(整理券が必要)
- お問い合わせ (社)雲南法人会 0854-45-2405



プロフィール 女優、夫の大島渚さん(映画監督)の介護で自身「うつ」の経験がある。

介護予防

今月から3回のシリーズで、「介護予防」についてお知らせします。一緒に考えてみませんか？

第1回 元気に歳を重ねるために

高齢になると、心身に障害もでてきますが、歳をとっても今までどおりに（今まで以上に）趣味や生活を楽しみたい方は多いはずです。

飯南町地域包括支援センターでは、保健師、ケアマネジャー（介護支援専門員）、社会福祉士が中心になって、専門機関と連携しながら、地域で暮らしをサポーターしています。いつまでも元気に楽しく、住み慣れた地域で、生きがいを感じながら暮らし続けていけるお手伝いをしています。

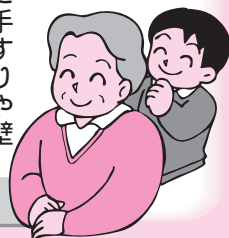
日頃の自己管理が元気づくりの秘訣です

こんなことに思い当たったら、「相談ください」。

外出が面倒になってきた。
日用品の買い物をしなくなった。

高齢者のことは
地域包括支援センターへ
飯南町地域包括支援センターは「介護予防」や「健康・医療・福祉」の総合相談窓口です。飯南町保健福祉センター内に設置されており、社会福祉士（石橋）、保健師（山戸）、主任介護支援専門員（小玉）の3人が担当しています。お気軽に声をかけてください。

お問い合わせ 飯南町地域包括支援センター（飯南町保健福祉センター内） TEL72-1770



こんにちは中山間地域研究センターです

里山の竹林を有効資源に!!

竹の利活用フォーラム「新たな活用技術、特に飼料化及び肥料化技術」を開催します

日時 ● 10月18日（木）午前10時～午後5時
会場 ● 島根県中山間地域研究センター（大会議室）

近年、竹林利用やタケノコの収穫が減少したため、竹林の荒廃や造林地などへの侵入・拡大が進み、竹林対策は中山間地域の大きな課題となっています。今回開催いたしますフォーラムでは、地域での竹林利用の推進を目指し、竹資源の新たな活用技術を紹介いたします。

基調講演

県外から講師を招き、竹林対策についてお話をいただくほか、最新の竹の飼料化や堆肥化技術とその可能性について講演いただく予定です。

数多くの事例紹介

竹を粉状に加工した竹パウダーの活用を中心に、飼料化・堆肥化技術に取り組み県外の企業の実践や中山間地域研究センターの研究状況を紹介します。また、竹の処理機械等、実演展示を予定しています。

参加お申し込み

参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。詳細については、お電話いただくか、中山間地域研究センターホームページをご覧ください。



荒廃する竹林

竹パウダー

私たちの地域を紹介します

第17回

下赤名

152世帯・446人



石見銀山の世界遺産登録によって、尾道へ続く銀山街道にも注目が集まるようになりました。

この街道は、大切な歴史遺産であり、地域の宝として大切にしていきたいと思っています。

現在は、町による古建築写真の修復作業が進められています。今後は、ここが地域の拠点として活用できることを期待しています。



下赤名を横断する 銀山街道

下赤名は、赤名の町から北側に広がる下赤名平野（町内一の広さ）を中心に、8つの自治会が集まっている地域です。

「地域の誰もが参画できる故郷づくり」を合言葉に、8つの自治会の力を集めて、住民が元気で明るく暮らせる地域を目指しています。

赤名湿地性植物群落



福田地区には、県下最大のハンノキ林が有名な「赤名湿地性植物群落」があります。

「生きた自然の博物館」とも言われるこの湿地を守るために、土地所有者で構成する保護育成会が、清掃活動等に取り組んでいます。

下赤名まつり

下赤名自治振興会のイベントとして「下赤名まつり」を開催し、地域住民同士の親睦を深めています。

昨年は赤名スキー場のロッジを会場に、町内の音楽グループによるコンサートを行いました。地域の皆さんによる手料理をいただきながら、賑やかイベントとなりました。



琴峯俳句会

俳句 短歌

- * 木下園潜り観光バス続く
- * 慰霊社は萩に包まれ風誘ふ
- * うかうかと過ぎて朝顔枯れにけり
- * 朝顔の病窓までも伸びて来し
- * 一日の疎さ忘れし星月夜
- * 病人と看取り朝顔咲かせどり
- * 故郷の風良薬と盆の客
- * 終戦日女三代鐘を撞く
- * 星月夜亡き父のこと母のこと
- * 朝顔や土のはりの冷めやらず

赤名短歌会

九月例会詠草

- * アーアと声出すのみをよこぎて若き等が炬燵に會孫屋らす
- * 送り盆京都五山とテレビに観る炎の荘厳さにまぶたのあつし
- * 酷暑の地球のかげば月読の光をいびつに触れてゆく
- * 見えわたる山を遠くに押しやりて炎釜の里に人影もなく
- * 盆過ぎて残暑はきびしく日々なれば夕べは何処に鈴虫の鳴く
- * 法師蟬騒ぎの故か声まばら衣れそのまゝ一生終わるか
- * 秋風に鳴る鈴虫は淋しげにわが胸内に沁み入りて来る
- * 真夏の日の続く畑に草引けば青空にひとすじ飛行雲流るる
- * 俵はヨットの様にやって来たオールド孫の婚の相手は
- * いただいたいのちのまつり」の絵本から
- * 生きている感謝ふつとわく
- * 短歌とは土俵の上の大勝負語る講師のひとみにうなづく
- * また一人体調悪しさを語る人グランドゴルフの友よ頑張り
- * 銀の道木漏れ日浴びつ「やなしお」と歩き通せば開けり美里

会員作品抄

- 石田 シヅカ
- 奥野 玉青
- 垣内 良野
- 片山 素文
- 林 勝子
- 張戸 ユキ子
- 政本 進美
- 源 雨光
- 森 征子
- 垣内 峯雅
- 門所 詠子
- 澤田 勝登
- 難波 幾子
- 中村 三四二
- 貝森 フミエ
- 源 光子
- 三島 久恵
- 日高美代子
- 本間 麗子
- 石田 フクエ
- 岩佐 恒子
- 安部 教子
- 佐々木 久子

ご利用ください

「一般コミュニティ助成事業」

参考例

「コミュニティ助成事業は、（財）自治総合センターが、コミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報事業を行うものです。今回は、平成20年度の助成事業を募集します。自治区等で該当する事業がありまじたら、ご相談ください。※採用件数の関係で、採択されない場合がありますのでご了承ください。

■助成金額

100万円～250万円

■募集締切

10月31日（水）

■お問い合わせ

自治振興課頼原地区担当
TEL 72・0311



区分	施設または設備
生活環境、美観の維持等	芝刈機、公衆トイレ、除雪機等
健康の管理・増進	トレーニング用具、健康管理器具等
生活安全の確保の推進	防犯灯、自転車駐輪場等
お祭り、運動会、その他コミュニティ行事	太鼓、御輿、法被、テント、ステージ、各種用具等
文化・学習活動	視聴覚機器、調理用機器、天体望遠鏡、イス・テーブル等
体育・レクリエーション活動	照明施設、スポーツ用具、遊具・収納庫・公園・広場等整備
福祉活動	点訳機、朗読用編集機材等
その他	コミュニティ掲示板、屋外放送設備等

行政相談週間が始まります

行政相談週間 10月15日（月）～21日（日）

皆さんは毎日の暮らしの中で、例えば道路、河川、農地、登記、福祉などの役所の仕事について「困っている」「不満だ」「制度や手続きを知りたい」「どこに相談すればいいのかわからない」といったことがないでしょうか。

行政相談制度は、国や役所の仕事等について、苦情や要望を受け付け、公正・中立な立場から必要なあつせんを行い、その解決を促進することにも、皆さんの声を行政運営の改善に役立てるものです。

飯南町では、行政相談委員の大嶋典さん（赤色）と安部徳則さん（花栗）が、毎月10日前後に相談所を開設しています。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

■10月の相談日

日時 10月10日 9時～12時

会場 憩いの郷 衣掛

お問い合わせ先 総務課総務担当 TEL 76・2211

お気軽にご相談ください

身体障害者・知的障害者相談員

障害者相談員とは、福祉施策のより一層の充実を図るため、身体に障害のある方や、知的障害のある方からの相談に応じ、必要な指導・助言をしていただく方です。

飯南町には、次の2人が相談員として県から委嘱を受けており、福祉事務所など関係機関との連絡にあたっています。

■身体障害者相談員 信高正美（佐見）TEL 72・0779

■知的障害者相談員 深石早登志（頼原敷波）TEL 72・0563

お問い合わせ 飯南町福祉事務所 TEL 72・1773

お知らせ

INFORMATION



ウェブしまねwebモニター募集

県では、県政に対する県民の皆さんの意見を迅速に把握するため、インターネットを使ってアンケートにお答えいただく「しまねwebモニター」募集しています。

■応募資格

- ・県内にお住まいで、登録年度の4月1日現在で満15歳以上の方
- ・電子メールアドレスを持ち、インターネットから日本語で回答できる方

■活動内容

ホームページ上で、年10回程度、県政の課題などテーマを決めて、アンケートを実施しますので、パソコンから回答してください。

■応募方法

県のホームページから応募してください。

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/kochokoho/webmoni/>

■お問い合わせ 島根県広聴広報課県民対話室 TEL 0852・22・6501

ご利用ください「無料法律相談」

10月1日は「法の日」です。この日に合わせ、司法書士会では中山間地域で「無料法律相談」を実施しています。

今年度は、次の日程で開催しますので、お気軽にご相談ください。

■日時 10月18日（木）

10時～15時

■会場 来島基幹集落センター

■相談員 吉川玲嗣 他2人

電話番号は「#8000」

島根県小児救急電話相談

「#8000」は、休日・夜間の急な子どもの病気に、どう対処したらよいかわかった時などに、電話で相談ができるサービスです。

島根県内のどこからでも、短縮電話番号（#8000）をプッシュすると、県が委託した民間事業者の相談窓口へ転送され、保健師・看護師・小児科医師などから、症状に応じた様々なアドバイスが受けられます。

■サービス開始日時

9月1日（土）から

▽平日 19時～23時

▽土日祝日 9時～23時

■「#8000」が使えない場合

次の電話番号にダイヤルしてください。

TEL 03・3478・1060

■注意事項

- ・通話料は利用者の負担となります。（東京都までの通話となります）
- ・確認のため、ご相談内容を録音させていただきますので、ご了承ください。

登記事項証明・印鑑証明のオンライン請求がスタート

松江地方事務局雲南支部では、オフィスや自宅のパソコンから、インターネットを利用して登記事項証明書・印鑑証明書の送付請求をするサービスを開始しました。

※印鑑証明書請求は、電子署名が必要で、

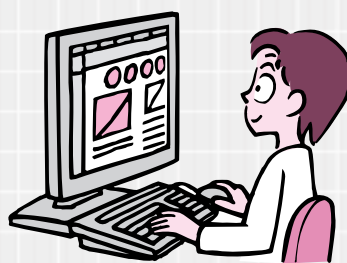
※個人の印鑑証明請求は、役場窓口をご利用ください

■オンライン請求のメリット

①手数料が安い

1通700円（返信分の郵送料込み）

②証明書等の入手までの時間が短い



オンライン請求に関する法務省ホームページ
<http://shinsei.moj.go.jp/>

あこやかに

8月届出分

新生児
野村しをりちゃん 清司（八神川東）
奥野芽生ちゃん 直樹（下赤色）
石田涼太ちゃん 智英（上赤色）
澤田律起ちゃん 正道（長谷）
橋村結ちゃん 健一（頼原）

やすらかに

8月届出分

お名前 親族 地区
三島 豊様 (84) 澄江 (佐見)
三原 昭一様 (78) 牧夫 (頼原敷波)
澤田 耕夫様 (85) 浩幸 (赤色)
石田 嘉富様 (79) 正行 (上赤色)
松平 幸一様 (60) 真二 (下赤色)
奥野 朝幸様 (84) 泰久 (小田)
中村 正行様 (52) 裕子 (下赤色)
藤原 コウ様 (90) 宏昭 (野萱)
飯島 ツユ子様 (95) 幸伸 (野萱)
佐々木 良雄様 (80) 英夫 (野萱)

今月の表紙

田舎の楽しみ方の一つに、家庭菜園があります。自分で作った野菜が元気に成長し、家で食べ、近所におすそ分けするなど、楽しみや喜びが広がっていきます。今回お邪魔した渡り秀夫さん(91)・延枝さん(75)夫妻も、「畑仕事は毎日の日課です。秋には大根や玉葱を作るんですよ」と、嬉しそうに話していました。

まちのスケジュール

2007 平成19年 10月

小ざな田舎からの「生命地域」宣言 いのち彩る里 飯南町

広報 いのち 9月号

町の人口5,919人(前月比-4人) 男性2,795人 女性3,124人
世帯数2,172戸

日	月	火	水	木	金	土
9/30	1 ★スマイルりんご (来島保健センター)	2	3	4 □ 頓原小フリー公開日 ～5日	5 ★ 秋季グラウンドゴルフ大会 (赤公:赤名山村広場)	6 □ 頓原小授業公開日 ★ 子ども活動 (来公:小田周辺)
7 ★ 銀山街道ウォーキングイベント (銀山街道:下赤名～赤名)	8 体育の日 □ 飯南高国際交流 体験学習～12日 (韓国:慶州・ソウル)	9 □ 飯南高職場体験 学習～12日 (町内事業所)	10 □ 来島保育所地域 開放日 ★ 子宮がん検診 (来島保健センター・加田の湯) ★ 軽体操 (保健福祉センター) ★ 雲南市飯南町 新人戦～11日 (バレー:木次中・野球: 頓原球場・卓球:赤来中) ★ 行政相談 (憩いの郷衣掛)	11 □ 桜ヶ台・さつき保 育所合同遠足 (場所未定)	12 ★ 育児相談 (保健福祉センター) ★ 全国和牛能力共進会 「7区審査」 (鳥取県米子市)	13 ★ ふるさと体験ツアー ～14日(姉妹都市交流) ★ クラインガルテン 5周年記念式典 (クラインガルテン)
14 ★ コスモス祭 (東三瓶フラワーバレー) ★ レディースグラウ ンドゴルフ大会 (赤公:赤名山村広場) ★ 全国和牛能力共進会 「7区結果発表」 (鳥取県米子市)	15 ★ スマイルりんご (来島保健センター)	16 □ 赤名・来島保育所 合同遠足 (場所未定) □ 志々小宿泊研修 ～18日 (出雲市:サンレイク) ★ 軽体操 (来島基幹集落センター)	17 ★ 胃がん検診 (獅子俱樂部・さつき会館) ★ ぼたん栽培講習会 (みせん)	18 ★ 乳児・1歳6ヵ月児 健診 (保健福祉センター) ★ フッ素塗布 (保健福祉センター) ★ ぼたん栽培講習会 (赤名改善センター)	19 □ 町内保育所きりん 組交流会 (東三瓶フラワーバレー) ★ 自治区長連絡会議 (さつき会館)	20 ★ 薬用植物シンポジ ウム～21日 (赤名改善センター・県民の森)
21 ★ 頓原公民館まつり (保健福祉センター)	22 ★ 胃がん検診 (赤名改善センター) ★ おしゃべり広場 (さつき会館)	23 □ 志々小授業公開日 □ 赤名小授業公開日	24 ★ 軽体操 (赤名改善センター)	25	26	27
28 ★ 来島文化祭 (基幹集落センター) ★ 島根県種畜共進会 (松江市宍道町)	29	30	31 □ 島根県図書館研究 大会(頓原中・赤来中・ 頓原小・来島小)	11/ 1	11/ 2	11/ 3 文化の日

□ 教育 ★ 健康・保健 ★ 文化・体育 ☆ その他



決められた日時を
お守りください

し尿汲取り日		頓原地域 ▲ 72-1401 赤来地域 ▲ 76-2441	
汲取り地区	汲 取 り 日		
頓 原	7日	9日	27日 29日
志 々	12日	14日	
赤 名	2日	4日	22日 24日
来 島	17日	19日	
谷	4日	24日	

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資 源 物	
収集地域	収集日
頓原	17日 (水)
赤来	24日 (水)

	金属類・粗大物	ガラス類
収 集 地 区	収 集 日	収 集 日
頓 原 連 坦 地	22日(月)	9日(火)
八 神 連 坦 地	24日(水)	11日(木)
志々・頓原の連坦地以外	23日(火)	10日(水)
赤 名 連 坦 地	15日(月)	1日(月)
来 島 連 坦 地	17日(水)	3日(水)
赤名・来島の連坦地以外	16日(火)	2日(火)